

經濟論叢

第163卷 第1号
定道 宏教授記念號

献 辞.....	渡 邊 尚	
インターネットを利用した 遠隔合同ゼミナールの実現.....	布 上 康 夫	1
パーソナルウェアの概念と機能.....	松 本 良 治	37
デジタルビデオ編集システム.....	広 田 雅 彦	51
輸出入統計データベースシステムの設計.....	宮 崎 耕	64
インターネット時代における グループウェア・メール.....	高 井 才 明	75
デジタルユニバーシティへの第一歩.....	細 井 真 人	99
国際会議とインターネット.....	中 村 素 典	112

定道 宏 教授 略歴・著作目録

平成11年1月

京 都 大 学 經 済 學 會

献 辞

定道宏教授は、1998年10月20日に63歳の誕生日を迎えられ、1999年3月31日をもって本学を退官されることになりました。

定道教授は、1961年3月に京都大学大学院経済学研究科を卒業された後、和歌山大学、ジョージタウン大学、ジョンズホプキンス大学、神戸大学を中心として長年にわたり教育・研究に携わられました。1995年4月に京都大学経済学部の国際統計情報・金融講座担当の教授として着任され、その後4年間という短い間ではありましたが、教育・研究活動に尽力してこられました。

定道教授のご研究は多岐にわたりますが、特に計算機を利用した統計・計量経済の分野を開拓してこられた第一人者であります。教授は統計・計量経済のための様々なシステムを研究、開発しながら研究を進めてこられ、これらのシステムは実際に多くの人々によって今もお使い続けられています。また、この間、計算機メーカーによる汎用計算機の開発にも協力され、計算機業界の発展にも少なからず貢献してこられました。定道教授のこのような業績は政財界でも高く評価され、大阪府や兵庫県などからさまざまな審議会や調査委員会への参加を要請され、ときには委員長としてもご活躍なさいました。

このような計算機と経済・経済学に関する豊富な知識と経験を活かし、定道教授は本学で非常勤講師、続いて教授として情報処理に関する講義を担当なさいました。また、定道教授が本学に着任なさるまでは全く整備されていなかった本学の経済学部・研究科内のネットワークシステムを一気に立ち上げられ、全ての教職員が電子メールを利用できる環境を整備して下さいました。さらに、計算機を用いた教育、研究の高度化にも情熱をもって取り組まれ、法経第二教室をはじめとするいくつかの講義室、演習室において、最新のマルチメディア技術を駆使した効果的な講義、演習が可能な環境を構築して下さいましたこと、定道教授の大きな業績であります。定道教授によって整備して頂いたこのよう

な充実した教育・研究環境を十二分に使いこなすことで、本研究科は今後ますます優れた人材を輩出し、優れた研究成果を出し続けて行くことができること
でしょう。

また、定道教授は行政面においても、経済学部経済学科長、経済学部経営学
科長を歴任され、経済学部および経済学研究科の発展のために貢献してこられ
ました。

京都大学経済学会は、定道教授のご功労とご業績に対して、心からの敬意と
感謝の気持ちをこめて、「経済論叢」の記念号を刊行致しました。特にこれまで
定道教授が打ち込んでおられた計算機を利用した教育・研究に関連する論文を
中心に編んでお贈りできますことは、わたくしどもにとってこの上ない喜びで
あります。

定道教授が、今後ともますますご健康で、学界のため、また広く社会のため
にご活躍下さいますことを、心からお祈り致します。

1998年12月10日

京都大学大学院経済学研究科長 渡 邊 尚